

第3回 徳島県鳴門総合運動公園野球場の在り方検討会議 議 事 次 第

日 時：令和4年2月3日（木）

14：00～16：00

場 所：徳島県庁10階 大会議室

（徳島市万代町1丁目1番地）

1. 開 会

2. 議 事

（1）今後のオロナミンC球場に必要な機能・設備について 資料1

（2）今後の対応手法について 資料2

（3）質疑応答

3. 閉 会

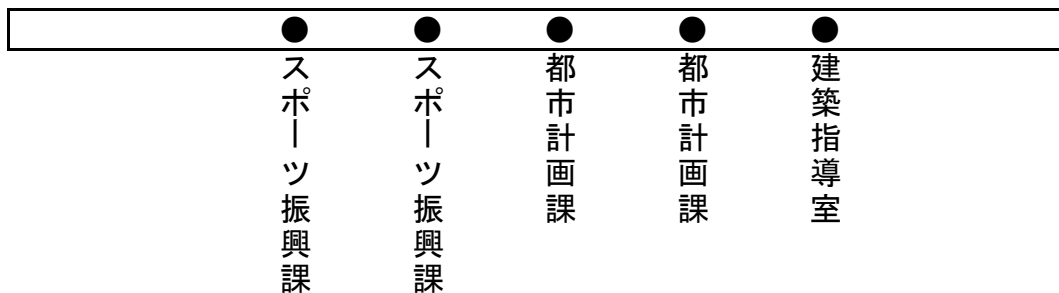
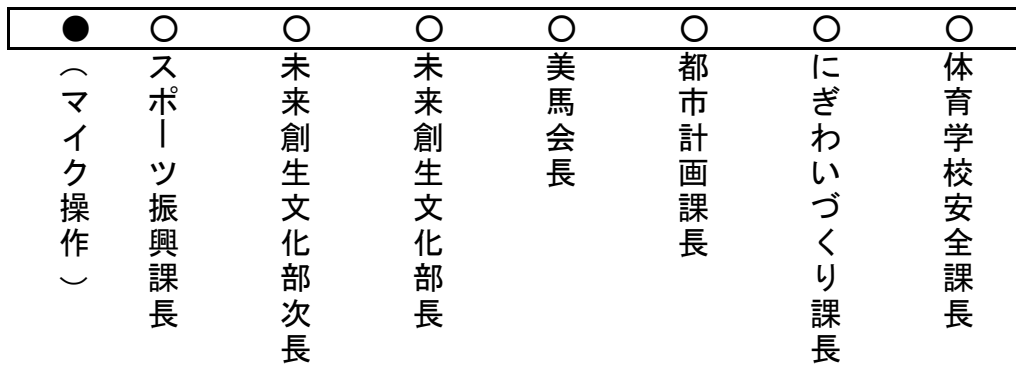
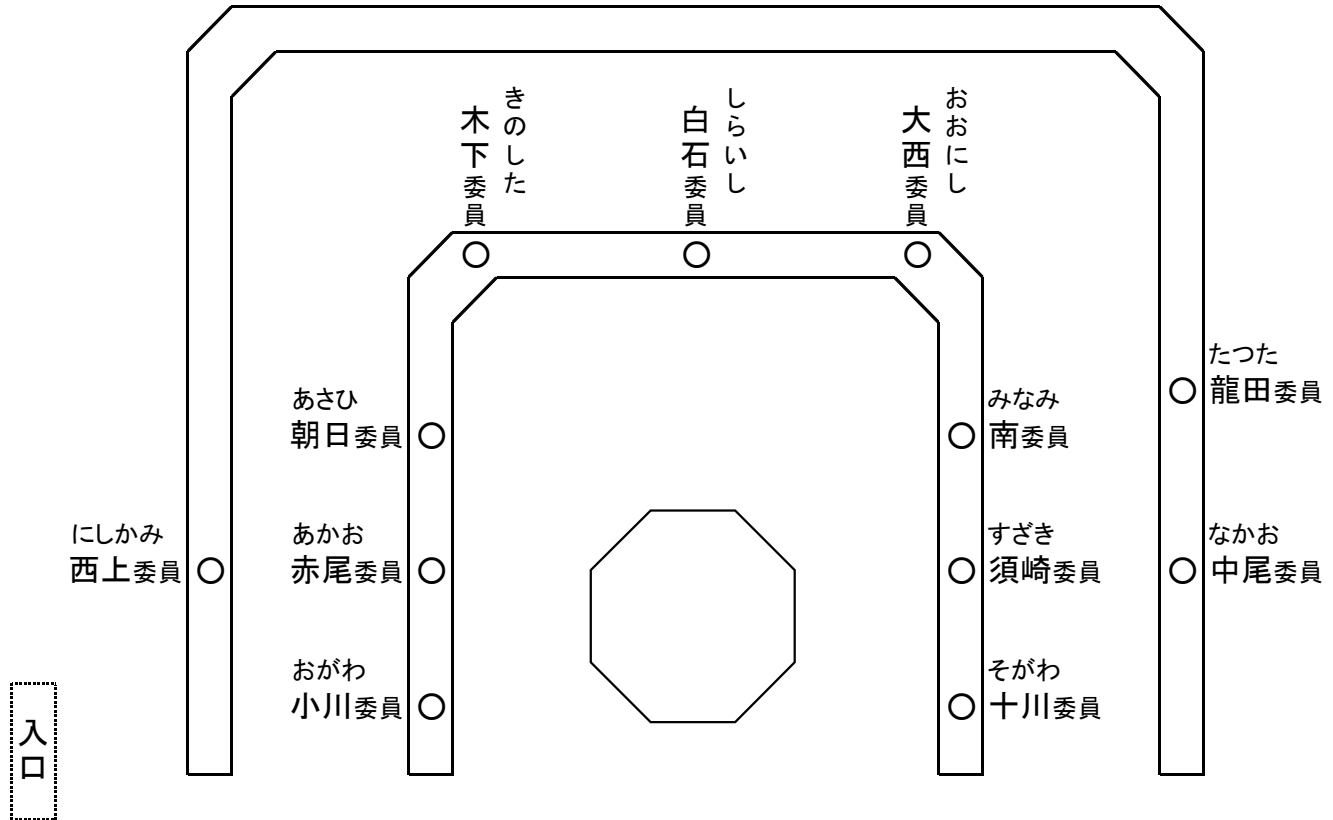
徳島県鳴門総合運動公園野球場の在り方検討会議 委員名簿

委員氏名	委員役職名	備考
美馬 持仁	鳴門教育大学 理事	会長
十川 佳久	徳島県軟式野球連盟 理事長	
須崎 一幸	徳島県高等学校野球連盟 理事長	
横田 勝	徳島県中学校体育連盟 会長	【欠席】
広瀬 直樹	徳島県学童軟式野球連盟 理事長	【欠席】
南 啓介	(株)パブリック・ベースボールクラブ徳島 代表取締役社長	
大西 真知子	徳島県スポーツ少年団 本部長	
白石 静生	元・プロ野球選手	
龍田 美咲	元・女子プロ野球選手	
中尾 美登里	公式記録員	
小川 宏樹	徳島大学理工学部 教授	
赤尾 苑香	(公社) 徳島県建築士会	
谷 紀明	(一社) 徳島県建築士事務所協会	【欠席】
小笠 恭彦	徳島県商工会議所連合会 専務理事	【欠席】
朝日 隆之	(一財) 徳島県観光協会 常務理事	
木下 慎次	(公財) 徳島県スポーツ協会 副理事長	
西上 昭二	鳴門市市民環境部 部長	

第3回 徳島県鳴門総合運動公園野球場の在り方検討会議 配席図

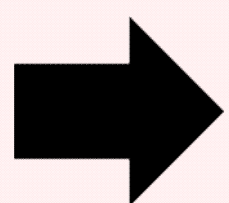
日時: 令和4年2月3日(月)14時から

場所: 県庁10階 大会議室



スクリーン

1 プロ野球を開催する野球場に必要な基準について



「グラウンドの広さ」や「照明設備の照度」についての基準が示されている。

グラウンドの広さ

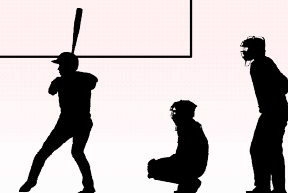
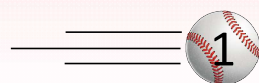
「両翼：99.06m以上，中堅：121.92m以上」

（「公認野球規則2.01 競技場の設定」にて，上記規格が「優先して望まれる」とされている。）

照明設備の照度

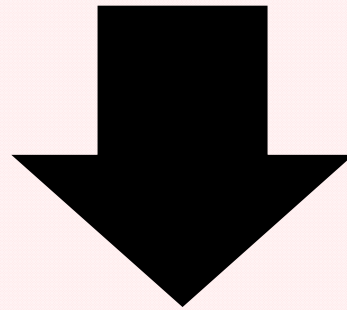
「内野：2,000lux，外野：1,200lux」

（「旧JIS規格」にて「プロ野球時の照度」と規定されていたため，上記水準が目安となる。）

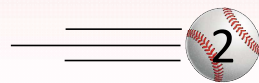


2 プロ野球開催実績がある地方球場の標準的な諸元について

プロ野球が開催された地方球場を分析



「プロ野球を開催」するために、
必要であると考えられる諸元を整理。



今後のオロナミンC球場に必要な機能・設備について

都道府県	施設名	プロ野球公式戦開催実績			収容人数		グラウンド規格	照明照度	屋内施設		スピードガン	スコアボード		
		開催日	対戦カード	観客動員	うち内野席	うち外野席			更衣室	屋内練習機能		表示方式	オーロラビジョン	
広島	三次きんさいスタジアム (みよし運動公園野球場)	2019/5/21	広島 vs 中日	13,836 人	16,000 人	8,000 人	8,000人 (芝生席)	【両翼】100m 【中堅】122m	【内野】2000 lux 【外野】1200 lux	選手用各1室(15個)	地下2F 人工芝練習場 1,225㎡	○	磁気反転式	なし
鹿児島	平和リース球場 (鹿児島県立鴨池野球場)	2019/4/16	巨人 vs 広島	17,858 人	21,000 人	15,500 人	5,500人 (芝生席)	【両翼】98m 【中堅】122m	【内野】2000 lux 【外野】1000 lux	各1室(10個) ※プロ野球開催時は、 多目的スペースを 更衣室として利用	なし	○	LED方式	あり
熊本	リブワーク藤崎台球場 (藤崎台県営野球場)	2019/4/17	巨人 vs 広島	13,681 人	24,000 人	10,429 人	13,571人 (芝生席)	【両翼】99.1m 【中堅】121.9m	【内野】1500 lux 【外野】1000 lux	監督室各1室 選手用各1室(20個)	なし	○	LED方式	あり
沖縄	沖縄セルラースタジアム那覇 (那覇市営奥武山野球場)	2019/5/22	西武 vs ソフトバンク	17,872 人	25,000 人	15,000 人	10,000人 (芝生席)	【両翼】100m 【中堅】122m	【内野】2000 lux 【外野】1500 lux	各1室(28個)	屋内運動場 別棟 3,254㎡	○	LED方式	なし
長崎	長崎ビッグNスタジアム (長崎県営野球場)	2019/4/9	ソフトバンク vs 日本ハム	17,742 人	25,000 人	16,000 人	9,000人	【両翼】99.1m 【中堅】122m	【内野】2000 lux 【外野】1200 lux	各1室(36個)	屋内練習場 576㎡	○	電光式	なし
愛媛	坊っちゃんスタジアム (松山中央公園野球場)	2019/4/16	ヤクルト vs 阪神	19,424 人	30,000 人	20,000 人	10,000人	【両翼】99m 【中堅】122m	【内野】2000 lux 【外野】1500 lux	ロッカーA 各1室(35個) ロッカーB 各1室(12個) ロッカーC 各1室(0個)	屋内練習場 1,157.3㎡	○	LED方式	あり
岡山	倉敷マスカットスタジアム (岡山県倉敷スポーツ公園野球場)	2019/6/18	阪神 vs 楽天	29,534 人	30,494 人	20,248 人	10,246人	【両翼】99.5m 【中堅】122m	【内野】2500 lux 【外野】2000 lux	各2室(25個)	室内練習場 1,400㎡	○	LED方式	あり

(参考:プロ野球開催可能な施設を目指し現在整備中の野球場)

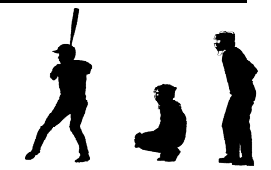
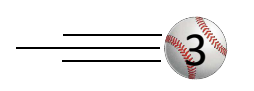
岩手	盛岡南公園野球場 ※R5年供用開始を目指し現在整備中	プロ野球楽天イーグルス一軍戦の試合開催誘致を目標に整備を進めている施設。	20,000人	12,000人	8,000人 (芝生席)	【両翼】100m 【中堅】122m	【内野】2500 lux 【外野】1200 lux	更衣室 各2室 その他、監督室、コーチ室、トレーナー室	トレーニングスペース (275㎡)、屋内練習場(2,500㎡別棟)	○	LED方式	あり
----	-------------------------------	--------------------------------------	---------	---------	--------------	----------------------	------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	---	-------	----

(プロ野球開催実績がある地方球場の標準的な諸元について)

<ul style="list-style-type: none"> ・[観客動員][収容人数]は各球場の平均値。 ・[グラウンド規格]は「公認野球規則」による「望まれる寸法」値。 ・[照明照度]は旧JIS規格による「プロ仕様」の水準値。 ・[更衣室]はベンチ入り人数であるロッカー25個・1室+監督室等を必要値とした。 ※ その他の項目は主観により「標準的」を設定している。 	18,564 人	24,499 人	15,025 人	9,473 人	【両翼】99.06m 【中堅】121.92m	【内野】2000 lux 【外野】1200 lux	監督室各1室 コーチ室各1室 選手用各1室(25個)	あれば なおよし	○	LED式	あれば なおよし
--	----------	----------	----------	---------	---------------------------	------------------------------	----------------------------------	-------------	---	------	-------------

(参考:オロナミンC球場における主要諸元)

徳島	オロナミンC球場 (徳島県鳴門総合運動公園野球場)	-	-	16,500人	10,500人	6,000人 (芝生席)	【両翼】99.1m 【中堅】122m	【内野】2000 lux 【外野】1200 lux	各1室(25個)	なし	○	磁気反転式	なし
----	------------------------------	---	---	---------	---------	--------------	-----------------------	------------------------------	----------	----	---	-------	----

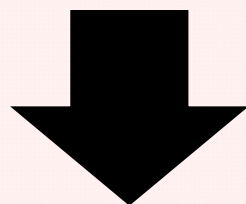


3 今後のオロナミンC球場に必要な機能・設備について

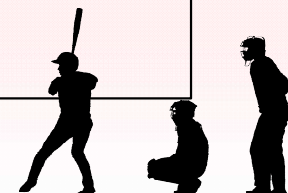
「プロ野球開催に向けた標準的な諸元」

+

「これまでの検討会議において頂いたご意見」



今後のオロナミンC球場に必要な
機能・設備を整理



3 今後のオロナミンC球場に必要な機能・設備について

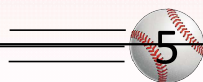
(1) グラウンドの広さ

「両翼：99.06m以上」

「中堅：121.92m以上」

(2) 照明設備の照度

「内野：2,000lux, 外野：1,200lux」



3 今後のオロナミンC球場に必要な機能・設備について

(3) 内野スタンド内の諸室等

- 「男女別」に利用できる「更衣室」や「トイレ」
- プロ野球開催に対応できる「監督室・コーチ室」など「諸室」

【内訳】 「監督室・各1室」「コーチ室・各1室」
「更衣室・各1室（ロッカー25個以上）」

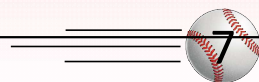
- 各諸室への「空調設備」
- 必要な広さ・高さを確保した「投球練習場」や「屋内ウォーミングアップエリア」



3 今後のオロナミンC球場に必要な機能・設備について

(4) その他の機能

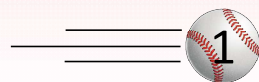
- 監督や選手への「取材スペース」
- 看護師やトレーナーの「待機スペース」
- 「洋式化」や「多機能」に対応した「トイレ」
- 授乳やおむつ交換等ができる「多目的室」
- 車いす利用者などに配慮した「エレベーター」
- スコアボードの「オーロラビジョン化」
- 「防災機能」の向上



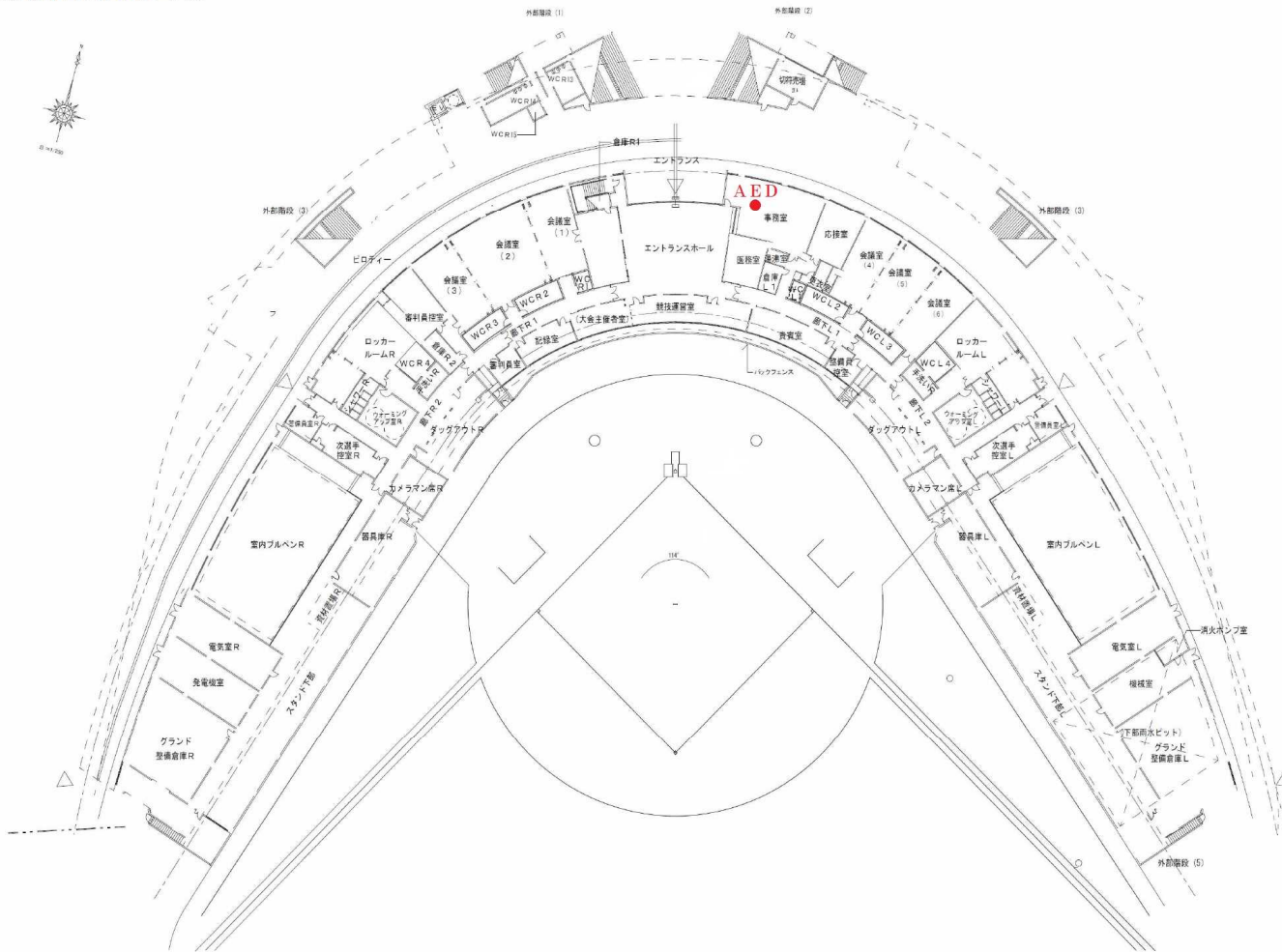


1. 基本情報

- 全体面積 16,112m²
中堅：122m、両翼100m
(公認野球規則対応)
内野：黒土混合土 外野：天然芝
 - 夜間照明施設：6基
(旧JIS・硬式野球公式競技対応型)
 - 夜間照明度：内野2,000lx
外野1,500lx
 - LED(発光ダイオード)
スコアボード
 - スタンド収容人数 25,000人
- 【内訳】
- 内野スタンド：15,000人
 - 外野スタンド：10,000人 (立見)

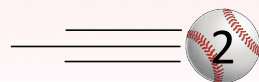


那覇市営奥武山野球場



2.内野スタンド内施設

- 会議室
(1塁側3室、3塁側3室)
- 応接室・医務室・貴賓室
- 競技運営室
- 大会主催者室
- 記録室・審判員室
- 整備員控室
- ロッカールーム
- ウォーミングアップ室
- シャワールーム
- 次選手控室・審判員控室
- 警備員室
- 室内ブルペン
(1塁側、3塁側各1室)
- カメラマン席
- 切符売り場
- 授乳室(2F)





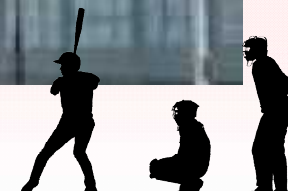
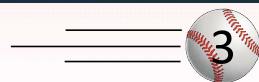
○建築面積

178.49m²

○構造

RC造地下1階

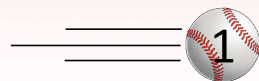
地上3階建





1. 基本情報

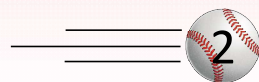
- 全体面積：12,800㎡
中堅：122m、両翼100m
(公認野球規則対応)
 - 内野：黒土 外野：天然芝
ファールゾーン：人工芝
 - 夜間照明施設：6基
(JIS・硬式野球公式競技対応型)
 - 夜間照明度：内野1,500lx以上
外野 800lx以上
 - LEDフルカラースコアボード
 - スタンド収容人数 10,000人
- 【内訳】
- | | |
|---------|---------|
| メインスタンド | ：3,000人 |
| 内野スタンド | ：2,000人 |
| 外野スタンド | ：5,000人 |





2. 球場内施設 1F

- 屋内練習場 (505m²)
- ブルペン (各219m²)
1塁側, 3塁側に各1箇所
- トレーニングスペース
1塁側, 3塁側に各1箇所
(各135m²)
- 素振りスペース
1塁側, 3塁側に各1箇所
(各115m²)
- 選手更衣室、シャワー室
1塁側, 3塁側に各1室
- 各関係者室
放送中継室、放送室、記録室
医務室、記者室・カメラ室
本部役員室、審判員室
グラウンドキーパー室
- 防災設備
耐震性貯水槽、防災備蓄倉庫
災害用マンホールトイレ



屋内練習場



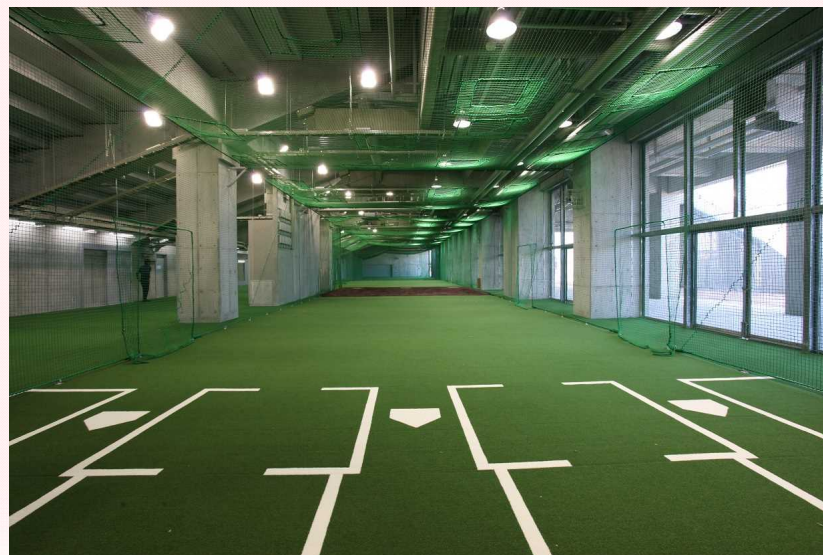
トレーニングスペース



素振りスペース



ブルペン



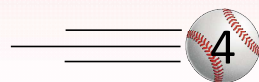


2F

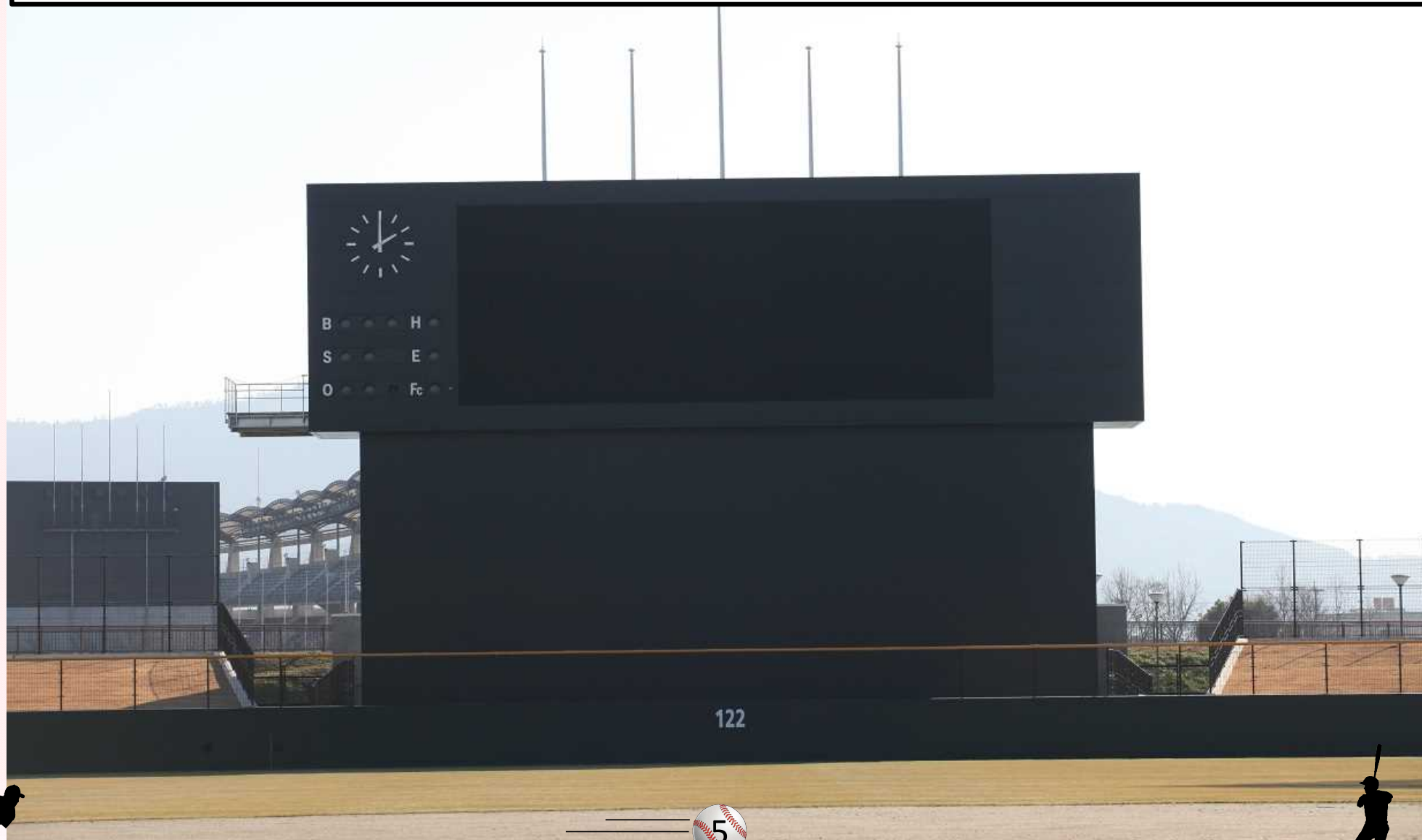
[観客席についてはこちらをご覧ください](#)

3. 球場内施設 2F

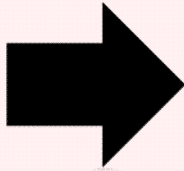
- 丸亀ピクニックデッキ
テーブル（4～6人掛け）とイスを設置。バーベキューをしながら観戦可能
- 休憩コーナー
- 多目的トイレ
- 授乳室
- 車いす用観覧席（10席）
エレベーター（正面玄関）
- エキサイティングシート
他の観客席より1段低くなっており臨場感を体感



*選手紹介等の試合情報に加え、任意の映像を映すことも可能



第2回検討会議における意見

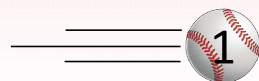
- 
- NPBの公式戦が開催できる施設（沖縄セルテースタジアム那覇）
 - 老朽化の状況を踏まえると「補修による対応は困難」
 - 「改修」と「改築」について「費用・工期」を含め比較すること

各対応手法の考え方

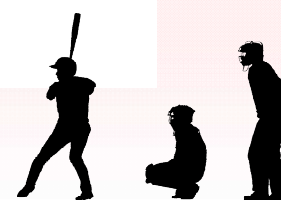
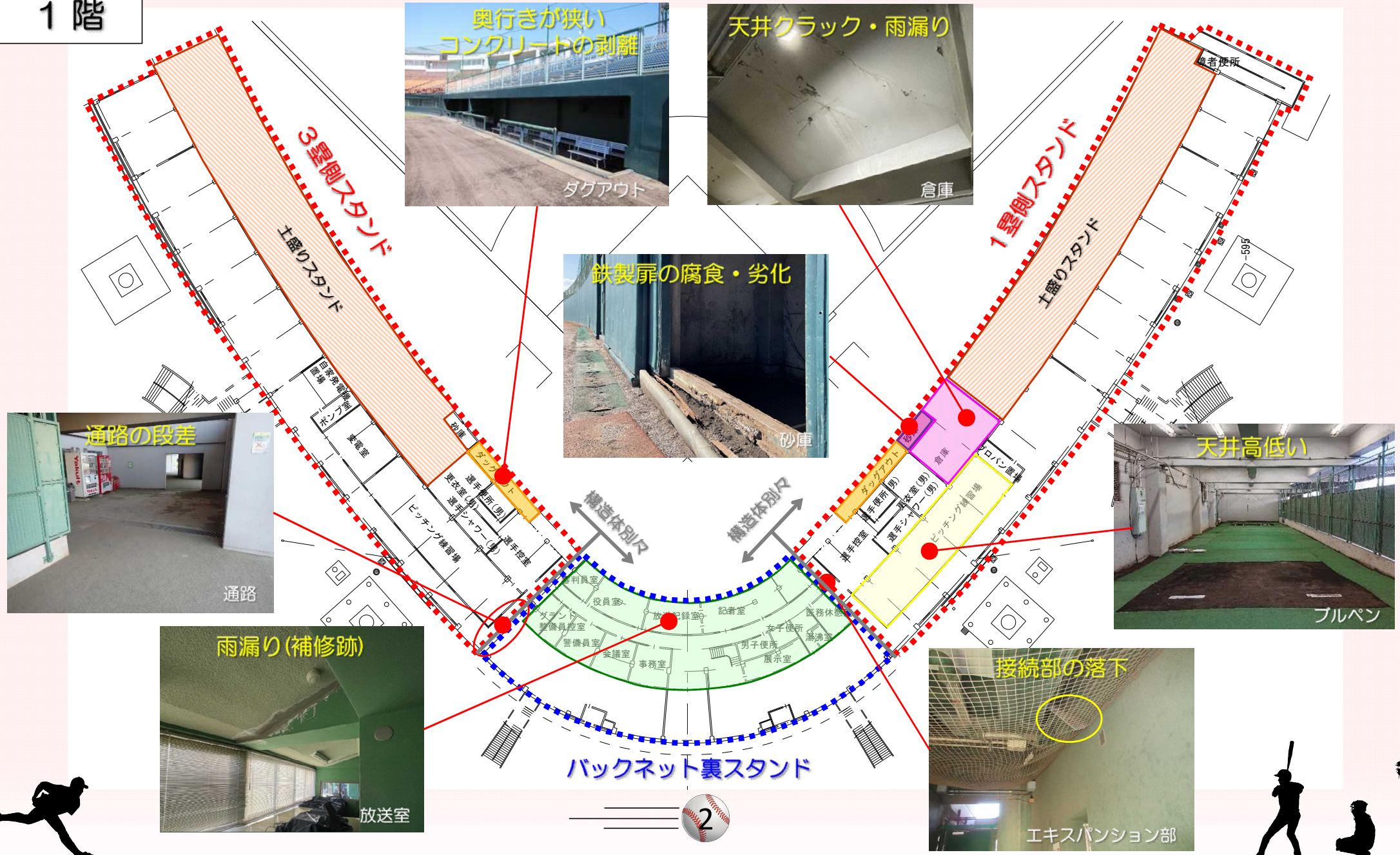
- | | |
|----|--|
| 補修 | <ul style="list-style-type: none">• 老朽化状況及び前回会議での意見を踏まえ「検討から除外」• 安全・安心な利用に不可欠な対応は「別途、早急に実施」 |
|----|--|

オロナミンC球場における
必要な機能を確保

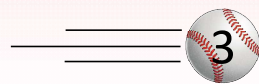
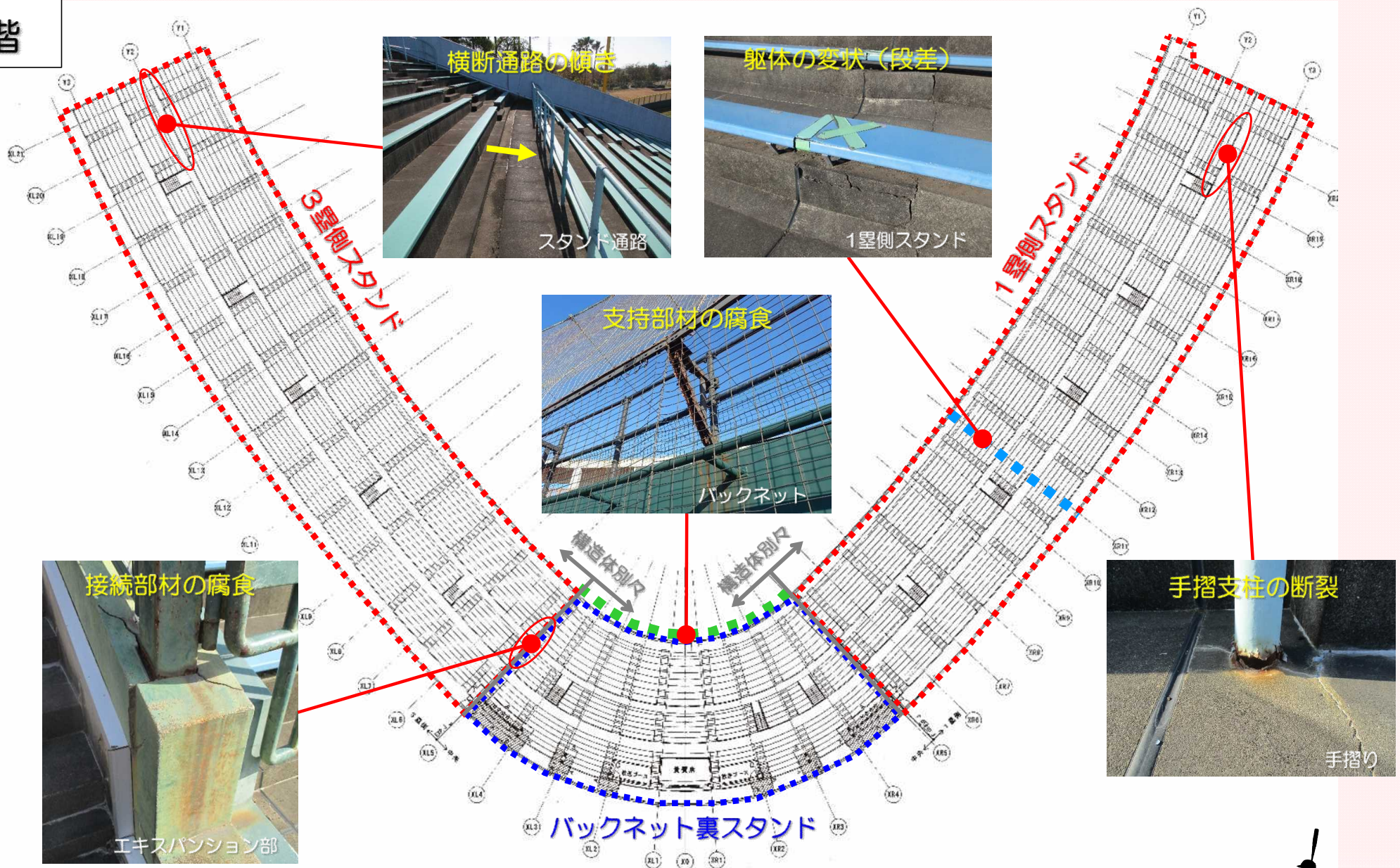
「改修(案①、②)」及び「改築案」を検討



1階



R階



オロナミンC球場の現状

国の指針に基づき、専門業者による健全度調査を実施（R3.12月実施）

- 鉄筋が腐食し、コンクリートの剥落やクラックが発生



漏水・滞水

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	漏水・滞水が見られるが、機能や構造的な安全性に問題ない状態。
C	漏水・滞水により機能や構造的な安全性が低下している状態。
D	漏水・滞水により構造的な安全性がそこなわれている状態。

ひびわれ



ランク	評価性状	
	ひびわれの有無	ひびわれの性状
A	損傷なし	---
B		構造的に問題となる箇所に発生しておらず、進行性は認められない
		構造的に問題となる箇所に発生していないが、進行性は認められるひびわれである。
C	あり	構造的に問題となる箇所に発生していないが、漏水や遊離石灰等が発生しており、耐久性等への影響が懸念されるひびわれである。
D		構造的に問題となる箇所に発生しており、安全性に問題がある。

出典：公園施設長寿命化計画策定指針(案)
健全度調査・判定事例集



オロナミンC球場の現状

国の指針に基づき、専門業者による健全度調査を実施（R3.12月実施）

- スタンド間における接続部の緩衝材の落下や通路の傾きなど、躯体に変状が発生
- バックネットや鉄製扉など鋼材に腐食が発生
- 全体的に老朽化が進行



沈下・移動・傾斜

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	沈下・移動・傾斜が生じているが、機能や構造的な安全性に問題ない。
C	沈下・移動・傾斜が生じており、機能や構造的な安全性の低下が懸念される状態。
D	著しい沈下・移動・傾斜が生じており、構造的な安全性がそこなわれている状態。



剥離・鋼材露出

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	局所的なうき又は剥離のみが発生しており、鋼材の露出は認められない、又は認められるが軽微である。
C	広範囲又は複数個所に、うき又は剥離が発生しているが、鋼材の露出は認められない。又は認められるが軽微である。 鋼材の露出は局所的であるが、露出した鋼材の腐食が著しく、断面欠損が生じている。
D	鋼材の露出が広範囲に及んでおり、露出した鋼材の腐食も著しく、部材の機能や耐荷性、耐久性等が損なわれている状態。 コンクリート片の落下により、重大な事故の恐れがある。

出典：公園施設長寿命化計画策定指針(案)
健全度調査・判定事例集



オロナミンC球場における健全度調査結果

ランク	評価基準	施設の状態
A	全体的に健全	健全である
B	部分的に劣化が進行し、劣化部分の定期的な観察が必要	定期的な観察が必要
C	全体的に劣化が進行し、利用を続けるには部分的な補修、若しくは更新が必要	建替えの検討が必要
D	施設の利用禁止や緊急な補修若しくは更新が必要	直ちに施設利用を禁止



改修案①

内野スタンドの「内部改修」

⇒ 既存スタンドを活用し、老朽化対応や諸室改修を実施

改修案②

バックネット裏スタンドの「内部改修」 1塁側・3塁側スタンドの「全面改築」

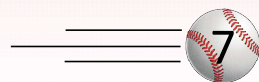
⇒ バックネット裏スタンドは活用し、老朽化対応や諸室改修を実施
⇒ 1塁・3塁側内野スタンドの全面改築を実施

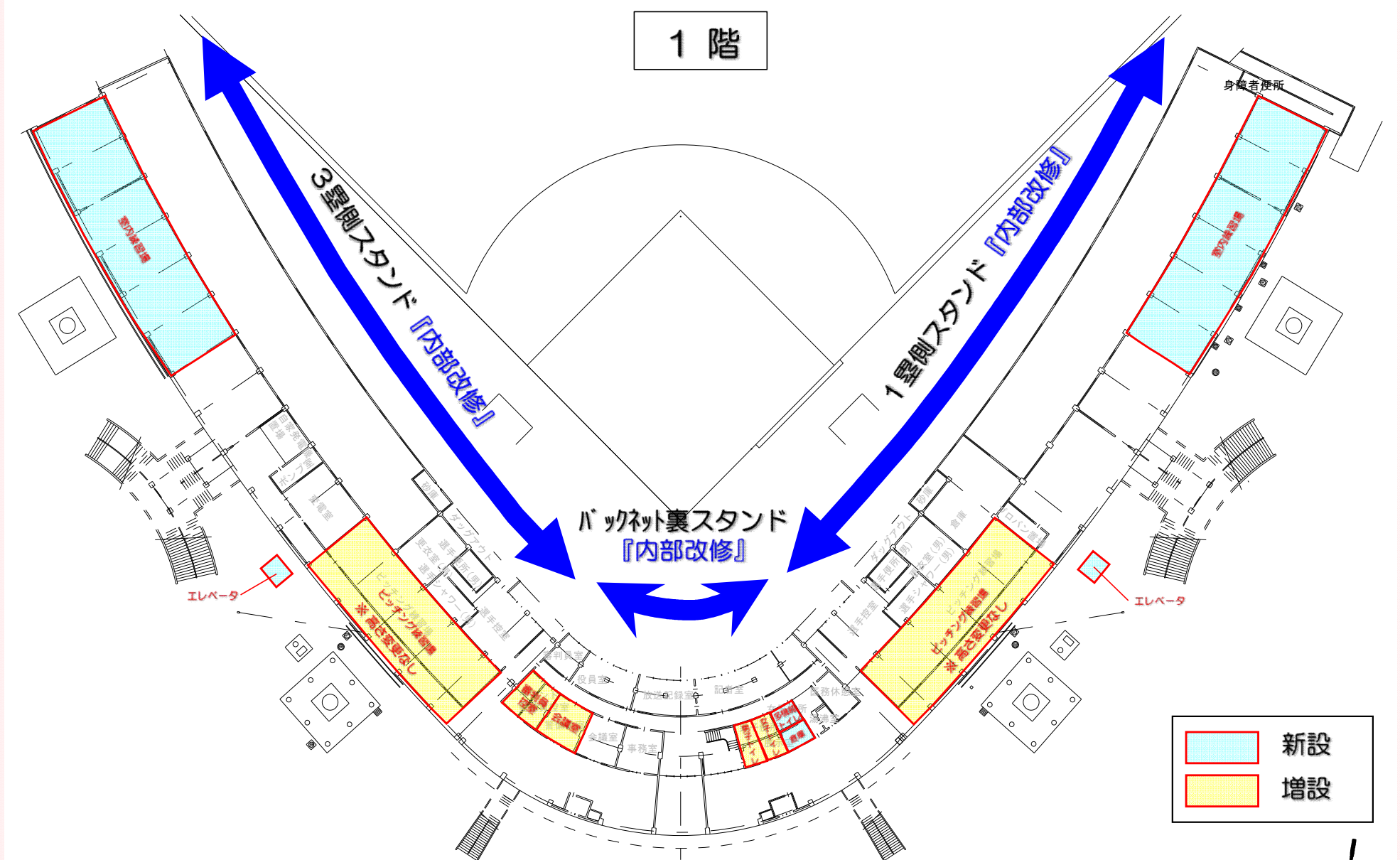
改築案

内野スタンドの「全面改築」

⇒ 既存スタンドを取壊し、新たにスタンドを整備

建築規模(面積)は同じで各対応案の
配置計画を検討

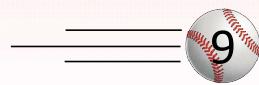
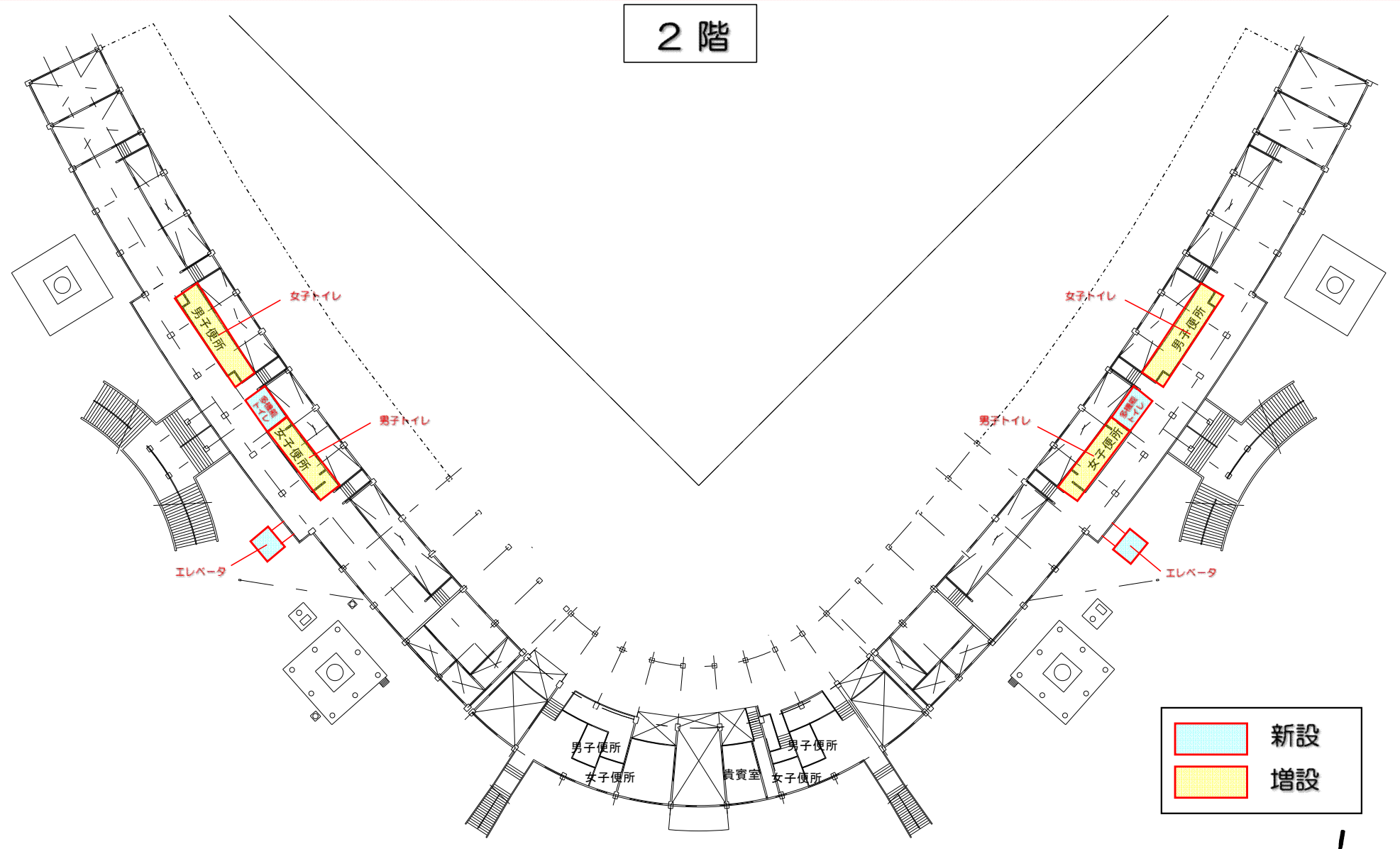


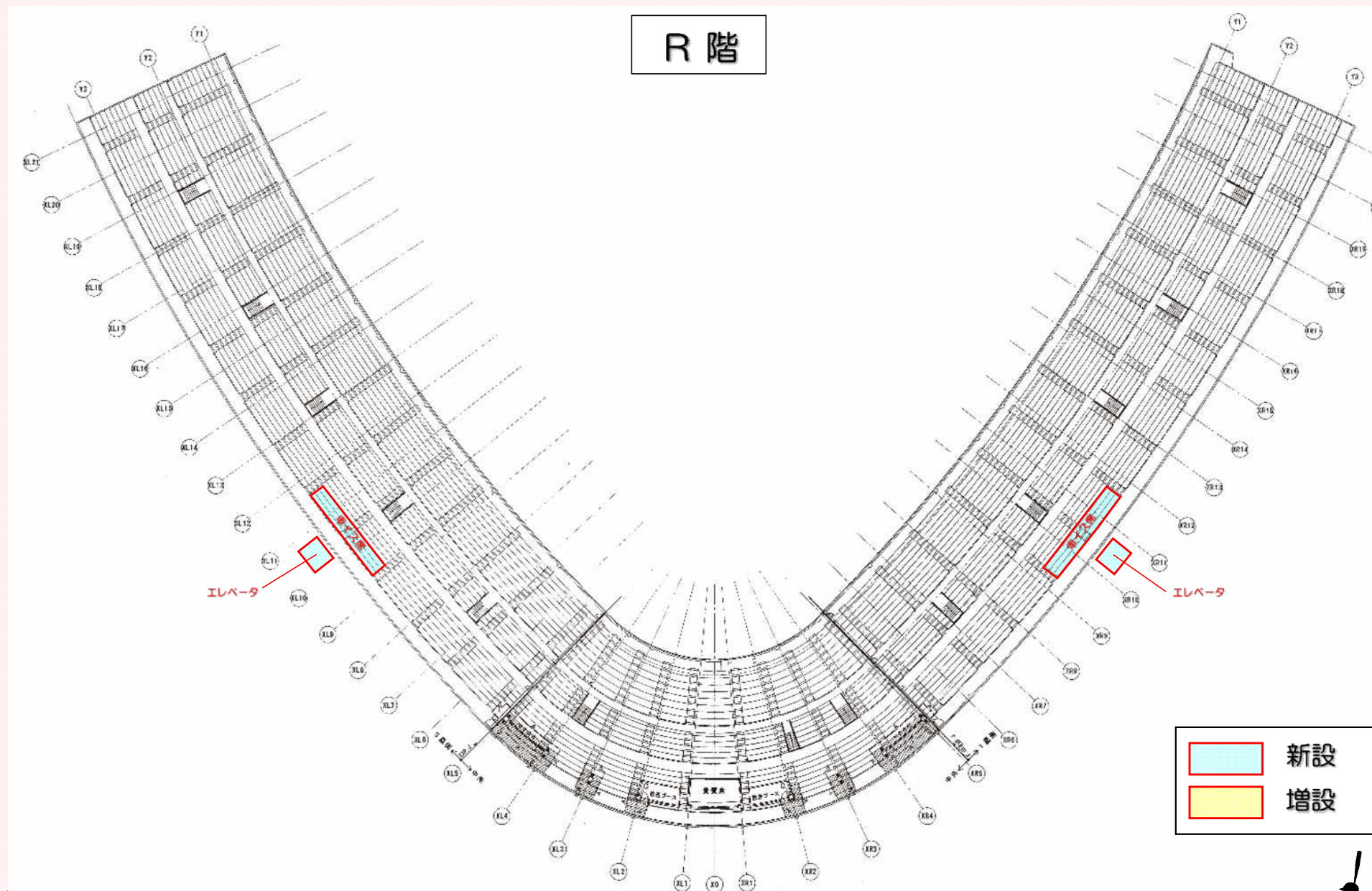


※ 前提条件：現スタンドの建築面積をベースに配置を計画



2階

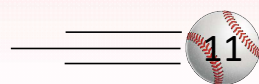


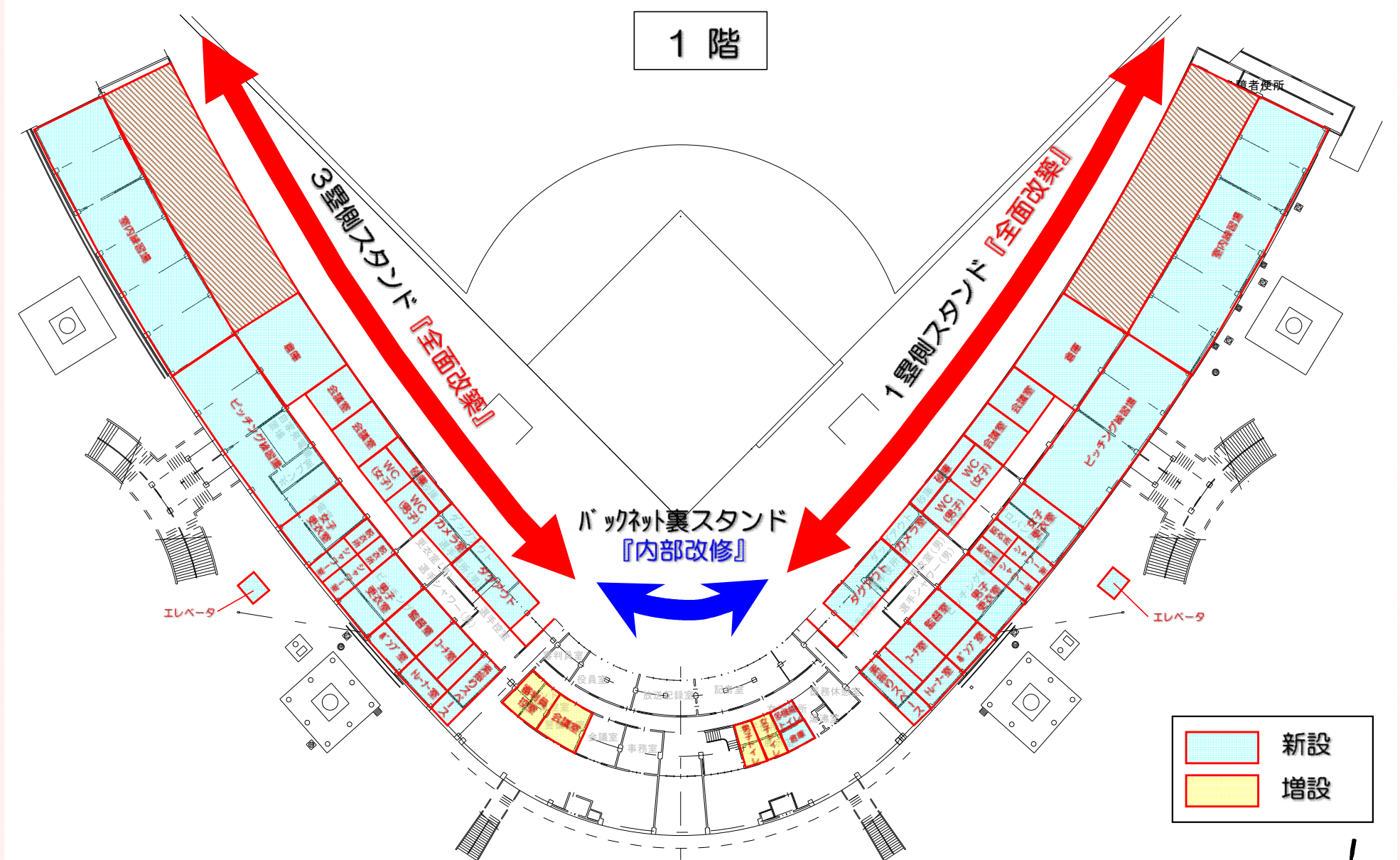


改修案① 現球場の課題への対応状況について

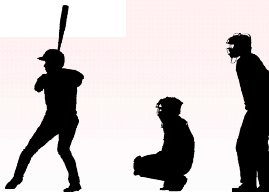
資料2

No.	課題項目	改修案①
1	放送室や役員室等の各諸室の「漏水対策」の実施	○
2	控室や役員室、記者席等への「空調設備」の整備	○
3	「審判控室」の拡充	△
4	「ダグアウト」の拡充	×
5	男女別の「更衣室やトイレ」の確保	×
6	「監督室」や「コーチ室」の確保	×
7	監督や選手への「取材スペース」の確保	×
8	看護師やトレーナーの「待機スペース」の確保	×
9	トイレの「洋式化」や「ウォシュレット」の整備	○
10	「多機能トイレ」の整備	○
11	授乳やおむつ交換等ができる「多目的室」の整備	×
12	「エレベーター」の設置	○
13	「防災機能」の向上	×

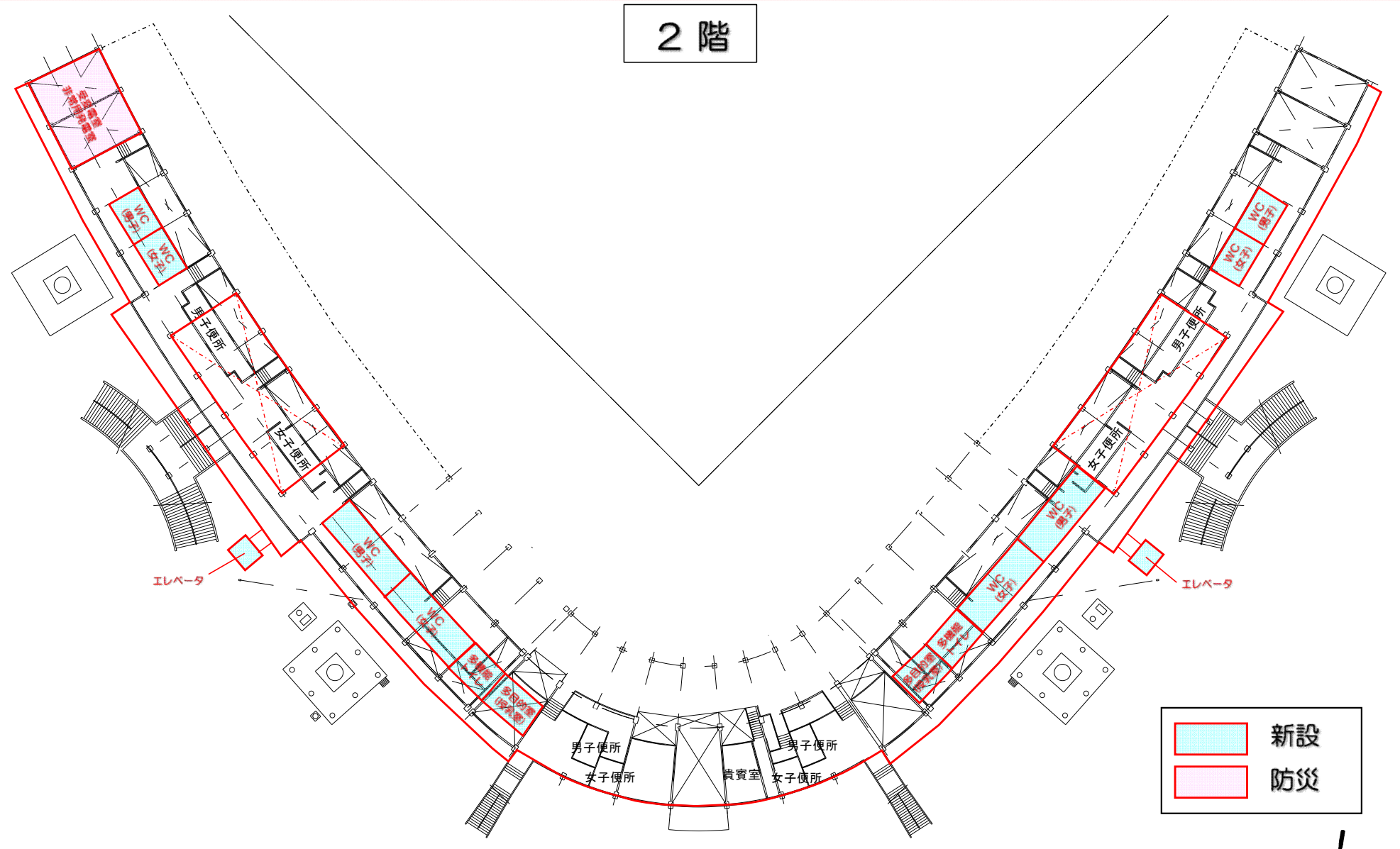


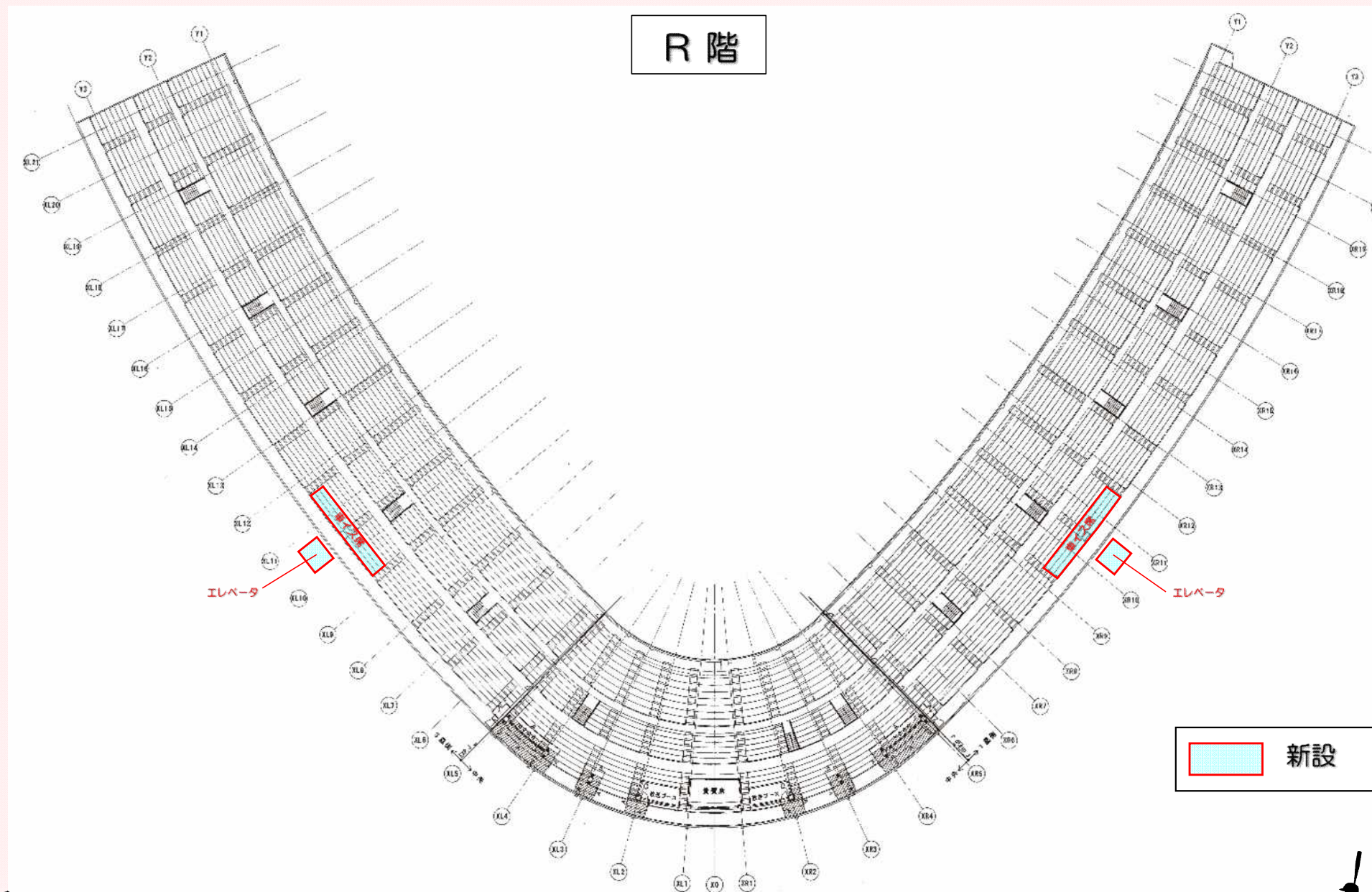


※ 前提条件：現スタンドの建築面積をベースに配置を計画



2階



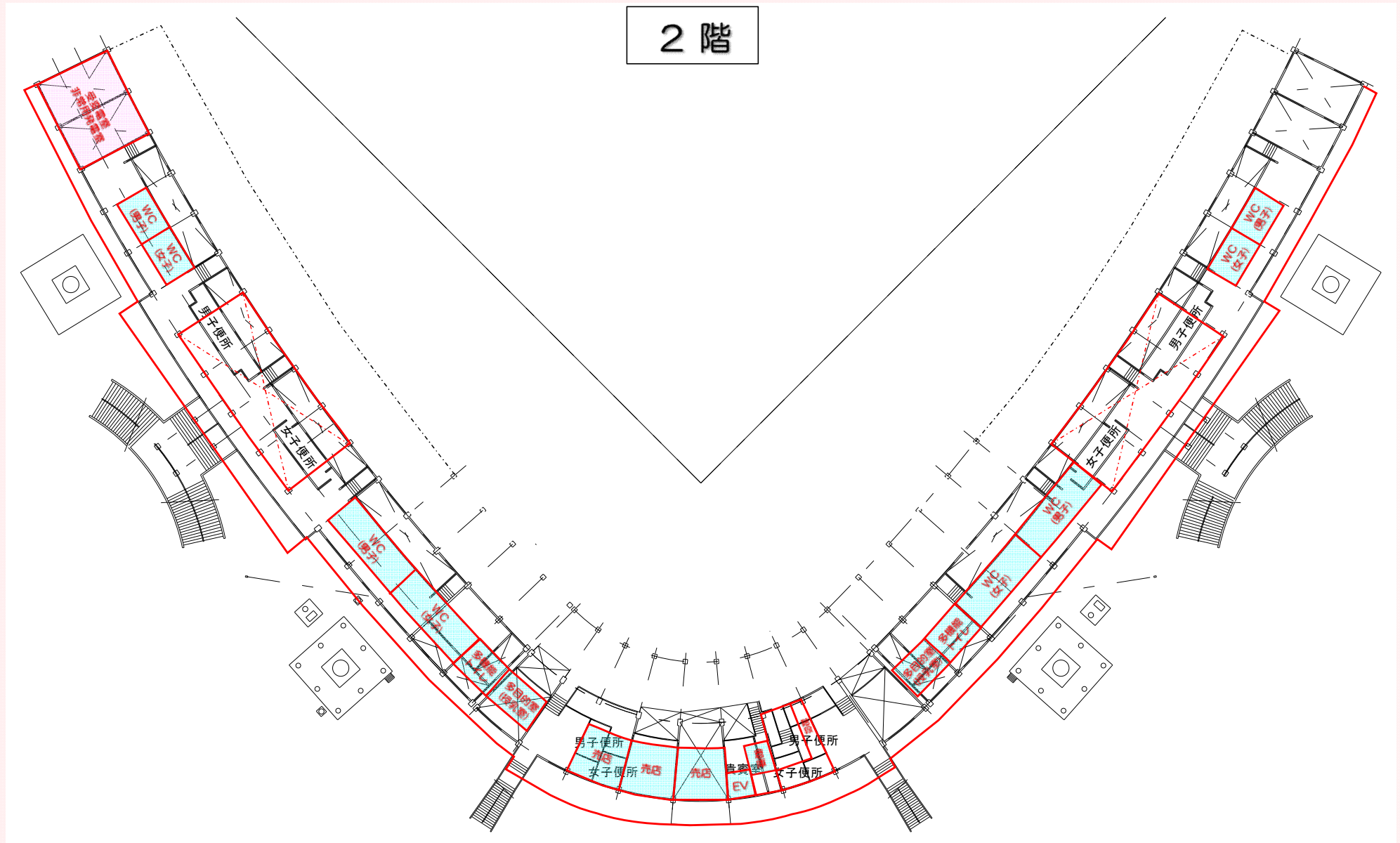


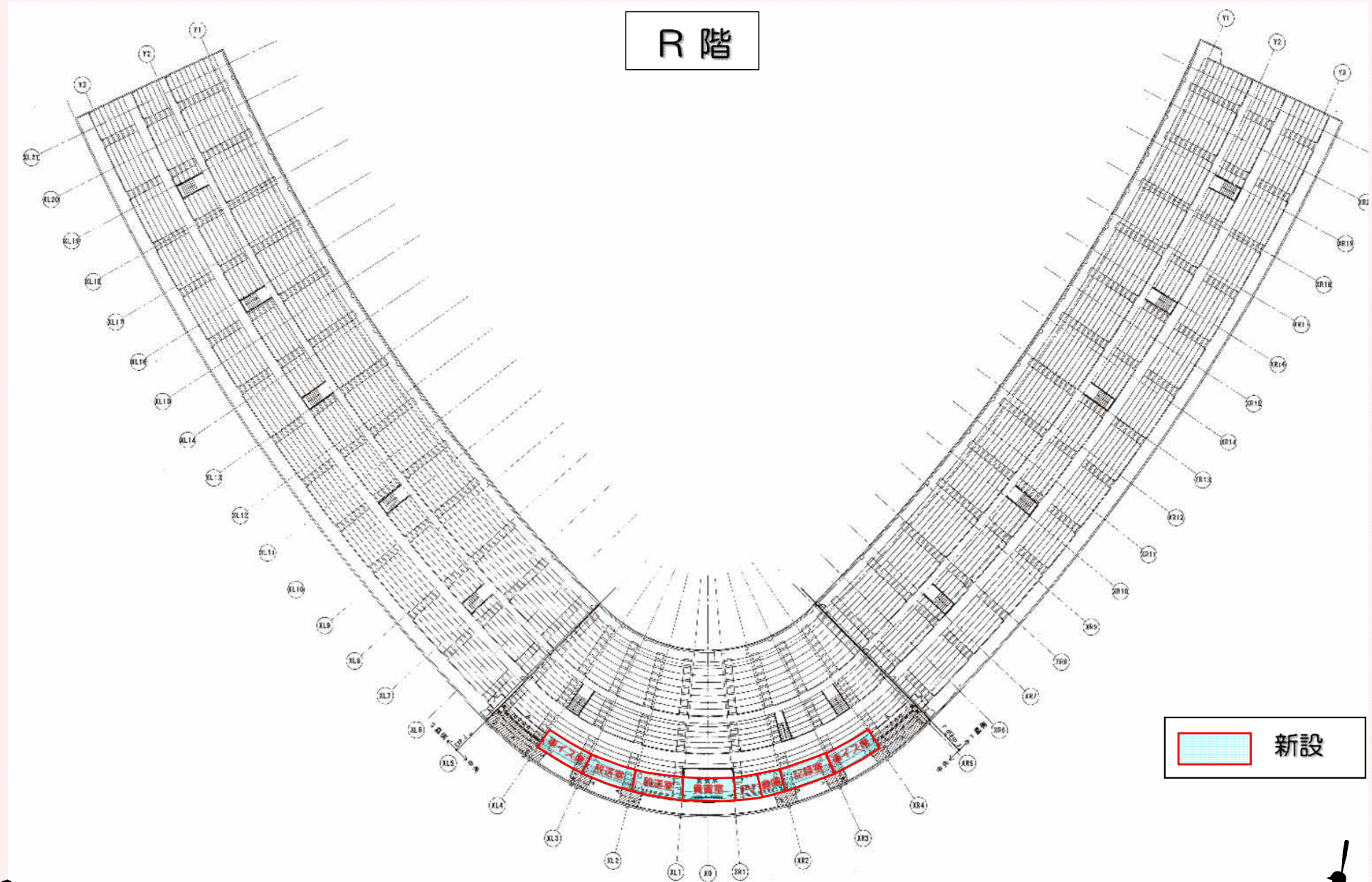
改修案② 現球場の課題への対応状況について

資料2

No.	課題項目	改修案②
1	放送室や役員室等の各諸室の「漏水対策」の実施	○
2	控室や役員室、記者席等への「空調設備」の整備	○
3	「審判控室」の拡充	△
4	「ダグアウト」の拡充	○
5	男女別の「更衣室やトイレ」の確保	△
6	「監督室」や「コーチ室」の確保	○
7	監督や選手への「取材スペース」の確保	×
8	看護師やトレーナーの「待機スペース」の確保	×
9	トイレの「洋式化」や「ウォシュレット」の整備	○
10	「多機能トイレ」の整備	○
11	授乳やおむつ交換等ができる「多目的室」の整備	○
12	「エレベーター」の設置	○
13	「防災機能」の向上	○







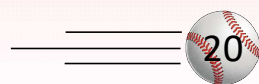
No.	課題項目	改築案
1	放送室や役員室等の各諸室の「漏水対策」の実施	○
2	控室や役員室、記者席等への「空調設備」の整備	○
3	「審判控室」の拡充	○
4	「ダグアウト」の拡充	○
5	男女別の「更衣室やトイレ」の確保	○
6	「監督室」や「コーチ室」の確保	○
7	監督や選手への「取材スペース」の確保	○
8	看護師やトレーナーの「待機スペース」の確保	○
9	トイレの「洋式化」や「ウォシュレット」の整備	○
10	「多機能トイレ」の整備	○
11	授乳やおむつ交換等ができる「多目的室」の整備	○
12	「エレベーター」の設置	○
13	「防災機能」の向上	○



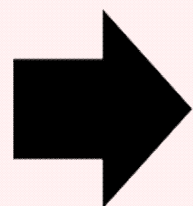
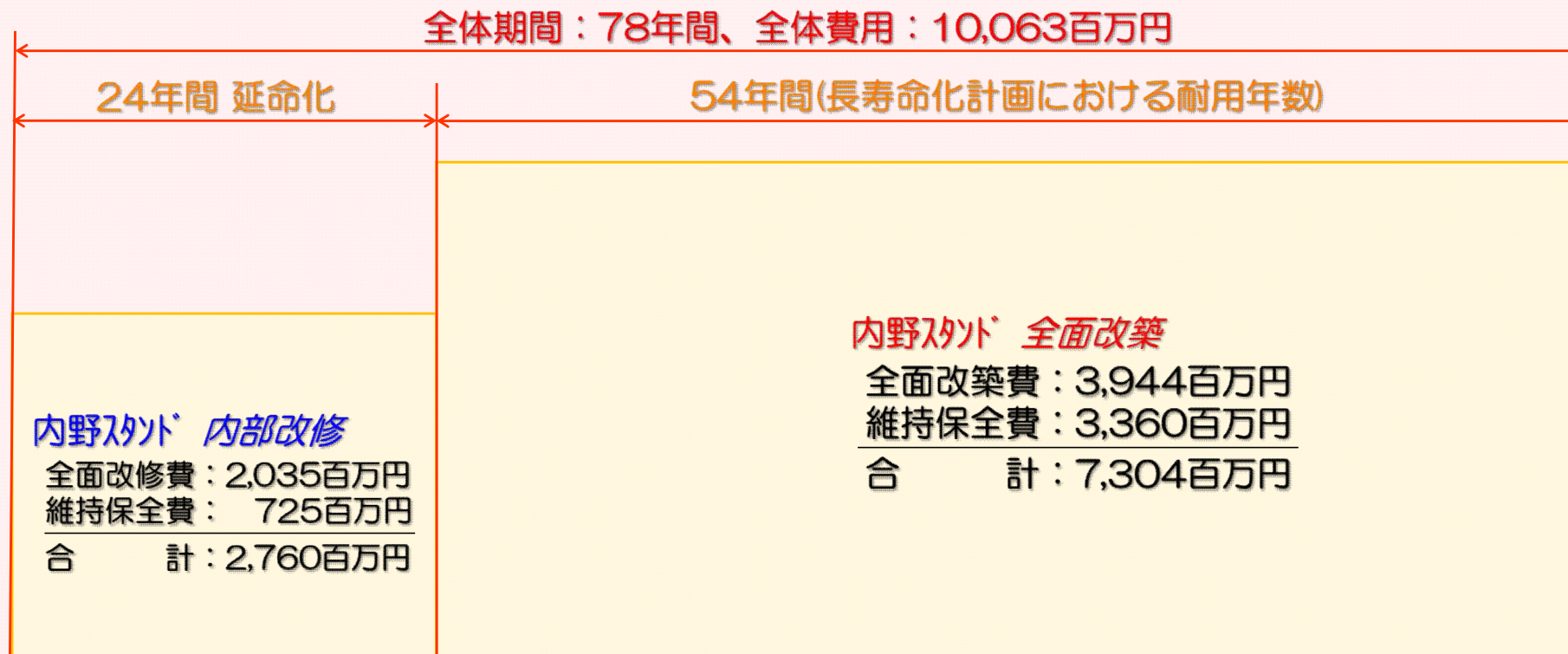
各対応案 現球場の課題への対応状況について

資料2

No.	課題項目	改修案①	改修案②	改築案
1	放送室や役員室等の各諸室の「漏水対策」の実施	○	○	○
2	控室や役員室、記者席等への「空調設備」の整備	○	○	○
3	「審判控室」の拡充	△	△	○
4	「ダグアウト」の拡充	×	○	○
5	男女別の「更衣室やトイレ」の確保	×	△	○
6	「監督室」や「コーチ室」の確保	×	○	○
7	監督や選手への「取材スペース」の確保	×	×	○
8	看護師やトレーナーの「待機スペース」の確保	×	×	○
9	トイレの「洋式化」や「ウォシュレット」の整備	○	○	○
10	「多機能トイレ」の整備	○	○	○
11	授乳やおむつ交換等ができる「多目的室」の整備	×	○	○
12	「エレベーター」の設置	○	○	○
13	「防災機能」の向上	×	○	○



1) 改修案①の単年度LCC算出



= 全体費用 / 全体期間 = 10,063百万円 / 78年間
= 約129,000 (千円 / 年)



2) 改修案②の単年度LCC算出

バックネット裏スタッド：全体期間：78年間、全体費用：2,345百万円

24年間 延命化

54年間(長寿命化計画における耐用年数)

バックネット裏スタッド 内部改修

全面改修費：407百万円
維持保全費：154百万円
合 計：561百万円

バックネット裏スタッド 全面改築

全面改築費：958百万円
維持保全費：826百万円
合 計：1,784百万円

1・3塁側スタッド 全面改築

全面改築費：2,987百万円
維持保全費：2,533百万円
合 計：5,520百万円

※ 24年分(耐用年数54年)

1・3塁側スタッド 全面改築

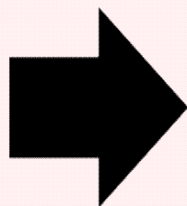
全面改築費：1,327百万円
維持保全費：1,125百万円
合 計：2,452百万円

1・3塁側スタッド：全体期間：78年間、全体費用：7,970百万円

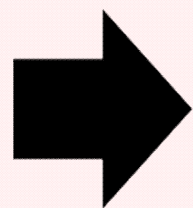
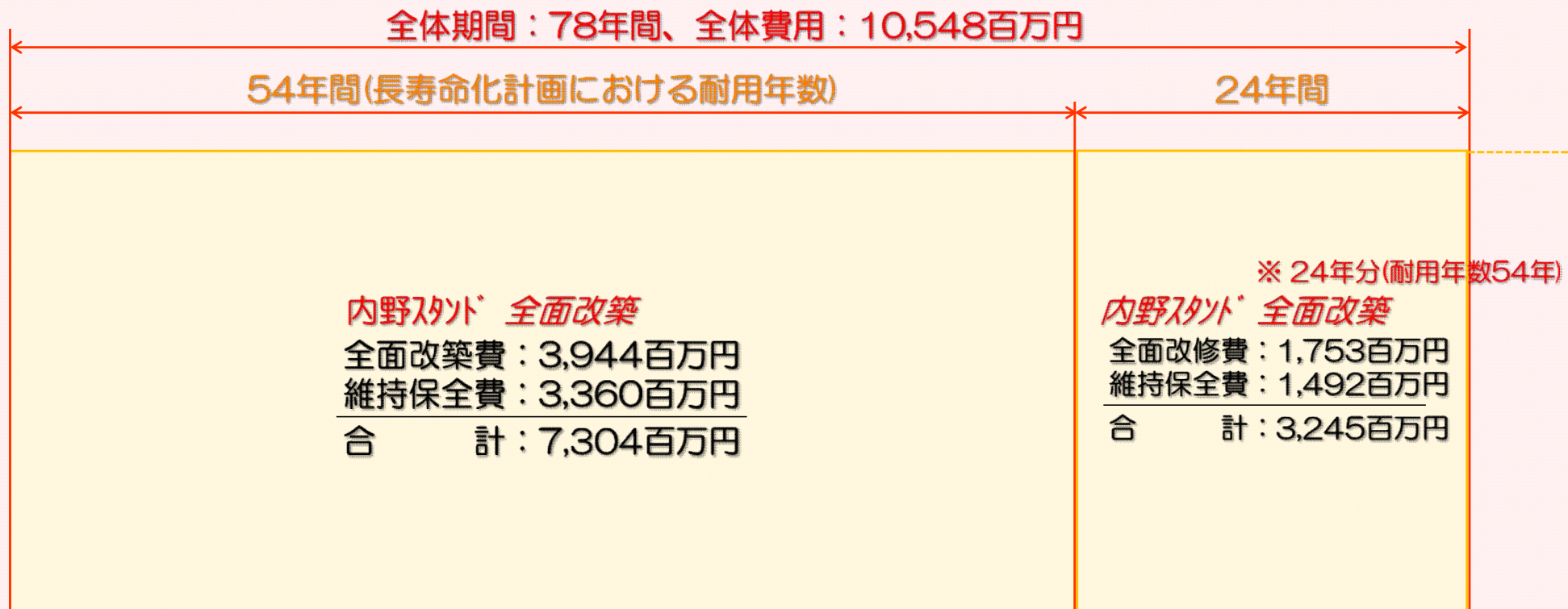
= (バックネット裏全体費用 + 1・3塁側全体費用) / 全体期間

= (2,345百万円 + 7,970百万円) / 78年間

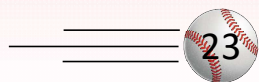
= 約132,000 (千円/年)



3) 改築案の単年度LCC算出



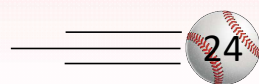
= 全体費用 / 全体期間 = 10,548百万円 / 78年間
= 約135,000 (千円 / 年)



各対応案のLCC及び工期の比較

対応手法	対応内容	単年度LCC※ (千円/年)	球場の利用休止期間						
改修案①	内野スタンドの内部改修	129,000 (0.96)	約18~24ヶ月 (全面改修)						
改修案②	バックネット裏スタンドの内部改修 1・3塁側スタンドの全面改築	132,000 (0.98)	約24~30ヶ月 (<table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-right: 5px;">解体</td> <td>4~7ヵ月</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 5px;">改修・改築</td> <td>20~23ヵ月</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black; text-align: center;">24~30ヵ月</td> </tr> </table>)	解体	4~7ヵ月	改修・改築	20~23ヵ月	24~30ヵ月	
解体	4~7ヵ月								
改修・改築	20~23ヵ月								
24~30ヵ月									
改築案	内野スタンドの全面改築	135,000 (1.00)	約30~36ヶ月 (<table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-right: 5px;">解体</td> <td>6~9ヵ月</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 5px;">改築</td> <td>24~27ヵ月</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black; text-align: center;">30~36ヵ月</td> </tr> </table>)	解体	6~9ヵ月	改築	24~27ヵ月	30~36ヵ月	
解体	6~9ヵ月								
改築	24~27ヵ月								
30~36ヵ月									

※ 単年度LCCは「税抜き」で表記

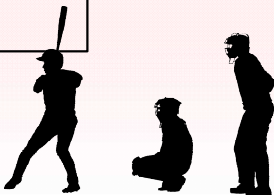


法令上の課題について

関係法令	法的制限	現況	課題
徳島県 都市公園条例	<p><建ぺい率> 公園施設の建築面積の総計／公園敷地面積： 2%未満 運動施設に係る建築物の場合（特例措置）： +10%未満</p> <p>合計： 12%</p>	11.9%	既存スタンドと同等の建築面積であれば問題なし 現建築面積より増える場合、条例の改正が必要
徳島県 都市公園条例	<p><運動施設率> 運動施設の敷地面積の総計／公園敷地面積： 50%未満</p>	34.4%	課題なし



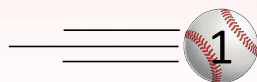
- 1) 安全・安心な施設とするための意見
- 2) 現代のニーズに応じた施設とするための意見
- 3) よりグレードの高い施設とするための意見
- 4) その他の意見



1) 安全・安心な施設とするための意見

① 熱中症対策について

- 控室，役員室及び記者席等への「空調設備」の必要性
- ダッグアウト（ベンチ）等への「スポットクーラー等」設置の必要性
- スタンドにおける「日よけ及び雨よけ用屋根」の必要性

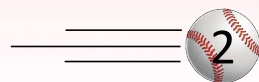


これまでの検討会議における意見の集約

1) 安全・安心な施設とするための意見

② 老朽化対策について

- 審判室，役員室及び記者席等の各部屋における「雨漏り」等の修繕が必要
- 現地を視察して思った以上に老朽化が進んでおり，早急な対応が必要
- 「補修」レベルで対応していくことは，非常に難しい状況
- コンクリートが剥離し，鉄筋が見えている状態は，利用者に対し視覚的に不安を与える

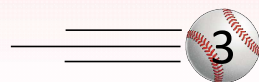


これまでの検討会議における意見の集約

1) 安全・安心な施設とするための意見

③ 安全確保対策について

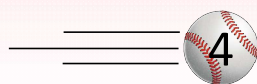
- 内野スタンドにおける常設の「防球ネット」の必要性
- 内野スタンドが低く、場外へボールが飛び出しやすいことへの対応（「場外飛球対策」）が必要
- 雨天時に球場入口の玄関タイルが滑りやすく危険



2) 現代のニーズに応じた施設とするための意見

① 建設当時からの規格や運用等の変遷への対策について

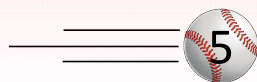
- ダッグアウト，切符売場及び審判室等が「狭い」ことへの対応
- 看護師及びトレーナーの「待機スペース」や，監督及び選手への「取材スペース」が無いことへの対応
- 公式記録室をスタンド上部に設置することによる機能向上



2) 現代のニーズに応じた施設とするための意見

② アメニティ向上対策について

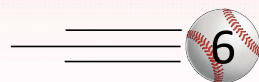
- トイレにおける「ウォシュレット」完備の必要性
- 観客席への「洋式トイレ」設置の必要性
- 来賓送迎車又は資材運搬車等の車両を駐車するための、「屋根付き駐車スペース」を球場入口付近へ設置の必要性



2) 現代のニーズに応じた施設とするための意見

③ ダイバーシティ対策について

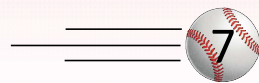
- 授乳やおむつ交換等ができる「多目的室」設置の必要性
- 「エレベーター」設置の必要性
- バリアフリーの観点から「駐車場を入口付近に設置」すること及び観客席への十分な「車いす入場路の確保」の必要性
- 男女混合チームの利用も増えていることから、「男女別に区分できる広さを備えた更衣室」が必要
- オーロラビジョン設置により聴覚障がいのある方に対して有効な注意喚起が図られる



2) 現代のニーズに応じた施設とするための意見

④ その他

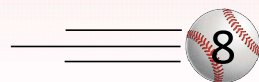
- 「防災機能」向上の必要性



3) よりグレードの高い施設とするための意見

① 大会運営機能の向上について

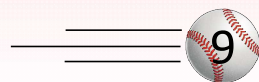
- サブグラウンド，室内練習場の設置による「チーム控室やアップ場所の確保」「公園利用者の安全性確保」の必要性
- 磁気反転式「スコアボードの改善」による観客への「注意喚起」及び「メッセージ可視化」の必要性
- **小さくても良いので，軽くアップやノックが出来るくらいの「室内練習場」が球場内にあれば大変有用。**



3) よりグレードの高い施設とするための意見

② NPBの誘致について

- NPB誘致を見据え「音響設備の更新」及び「スコアボード・オーロラビジョン化」の必要性
- 「沖縄セルラースタジアム那覇」を参考に
(規模の大きい球場ではないが、プロ野球のキャンプや公式戦が開催されている球場)
- 「レグザムボールパーク丸亀」を参考に
(コンパクトな球場だが、雨天練習場や会議室など必要な施設が揃う)



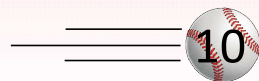
3) よりグレードの高い施設とするための意見

③ 駐車場対策

- 「駐車場拡張」の必要性

④ その他

- 徳島県が目指す球場の明確化
- さらなる高グレード施設への目標設定
- プレイヤーと観客の距離が近い「一体感のある球場」



4) その他の意見

- 全面改修の検討可能性
- 鳴門・大塚スポーツパーク内のトイレ案内表示の改善
- 都市公園の「緑化率」を念頭に置いた、各施設設置の議論

